

式 辞

本日をもって2学期が終わります。この2学期も、皆さんから沢山の喜びや感動をもらいました。

3年生…体育祭、文化祭を成功させ、心に残る感動的な行事にしてくれました。盛り上がった騎馬戦、文化祭生徒発表の部のパフォーマンス、常にリーダーシップをとってくれた生徒会執行部はSDGSの取り組みを進め、難しい状況に対しても、適切な対応をしてくれました。

2年生…3年ぶりのトライやるウィークでは、積極的な活動ぶりで事業所の方々にたくさん褒めていただきました。皆さんには活動力があります。新宮中学校をリードする先輩の後を受け継ぐに十分な成長ぶりです。新執行部中心の新たな生徒会活動がとても楽しみです。

1年生…、2度の研究授業で揖龍の中学校や小学校の先生方にその成長を見ていただきました。どこから見てももうすぐ先輩になる立派な中学生です。1月に迎えた3年ぶりのわくわくオーケストラ教室がとても楽しみです。

そして、全校で取り組んだハンドベルの音色は今でも心に残っています。素晴らしい合奏でした。

また、新宮中を挨拶の最もできる有数の学校にしていることは、生徒会執行部による充実した日常活動のおかげです。皆さんを誇りに思います。

そして、10月23日は永遠に記録に残る日となりました。野球部が、県新人大会優勝、全国大会出場という、今まで七十年以上、揖龍地区のどの学校野球部も成し遂げることでできなかった宿願を達成したのです。私も、チームが全国出場を決めるその場に立ち合ったのは初めてでした。もちろん、選手、監督、保護者の素晴らしきもありましたが、この大偉業を達成することができた理由を私はずっと考えていました。

日本中を熱狂させたサッカーワールドカップで解説をされていた元日本代表監督岡田武史さんの言葉をきいて、思いあたりました。

その言葉は、「勝利の女神は細部に宿る。」でした。

「細かい所まで追及して練習、日常生活を送らなければ、勝負の神様は決して味方してくれない。」という意味でしょうか。

勝敗を分けるのは、往々にしてそういう小さな事の積み重ねです。

「小さなこと、細かいことをおろそかにしてしまうことで、大きな目標を逃してしまうことがある。だからこそ細かいこと一つ一つにこだわって物事に取り組むことが大切である。」

野球部は私たちの教えてくれたと思います。

学校は、サッカーの日本代表のように世界を舞台に戦っているわけではありませんが、体育祭や文化祭などの行事においても、執行部を中心に細部にこだ

わりをもって準備を進めていくことで、大きな成果を上げることができたのです。学級においても同じです。

日番の仕事や、課題、掃除への取り組みなど、日常生活の細かいこと一つ一つに対して、

「最後までやり抜こう。」

「責任をもってしっかりと取り組もう。」

と丁寧に取り組むことで、みんなが気持ちよく過ごせる学校になり、一人一人より良い成長ができると思います。

この冬休み、細かいことまで気持ちを込めて取り組み、新年を迎えましょう。

さて皆さん、明日はクリスマスイブです。

皆さんのまわりを見て下さい。

2学期、たくさんお世話になった人の姿が見えますか。

友だち、先生、地域の方々、

そしてご家族の皆さんです。

どうか、感謝の気持ちをありがとうと言葉にして今年を締めくくりましょう。

3学期、元気な姿の皆さんと再会できる事を楽しみにしています。

令和四年十二月二十三日 たつの市立新宮中学校長 堀 富雄